

1人1台端末の利活用に係る計画

阿久根市教育委員会

1 GIGA スクール構想第1期の総括

(1) めざす学びの姿

児童生徒の資質・能力の育成に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、タブレット端末等のICTをツールとして、最大限に生かした授業づくりに取り組んでいる。

タブレット端末の活用により、児童生徒が一人一人の興味・関心に応じて、資料を基に調べ学習をしたり、到達目標に応じた問題等を選んで解いたりすることができるとともに、自分の端末の画面を大型提示装置に映し出して発表したり、学習支援ツールの導入により、その場で簡単に他の児童生徒と共有したりすることができるようになっている。

(2) これまでの総括及び成果と課題

ア 端末整備と通信ネットワーク整備

令和元年、2年：児童生徒端末1,317台整備、通信ネットワーク整備完了

イ 学びの実践のための取組等

(ア) 端末の持ち帰りの実施

夏季及び冬季休業中の持ち帰りの推進

(イ) 市ICT活用研修会の実施

○ 令和6年度：2回実施

回	実施日	内容
1	令和6年6月18日（火）	ドリルパークの活用
2	令和6年8月2日（金）	「すくーる373る」の活用

ウ 成果と課題

○ 各学校において、授業における効果的な活用が進んでいる。また、市主催のICT活用研修会では、ICT担当以外の教職員の参加が増加した。

△ 積極的に活用する職員と苦手意識の強い職員の二極化が見られる。また、デジタルコンテンツ等の活用状況について、学校間の差が見られる。

2 今後の利活用計画

(1) 情報活用能力の育成

ア 各教科等の授業内だけでなく、教育活動全体でICTの活用を推進していくことで、情報活用能力の育成を図ることができるようにする。

イ 教育課程の中で、各教科等の授業や各教育活動における情報活用能力の育成の視点で全体計画や指導計画を作成し、年間を通して、計画的・継続的に活用できるようにする。

ウ 利活用数値目標

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における「授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」の質問に、「週3回以上」「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合

年度	割合・目標値 (%)			
R 6	小 6	93.3 (県+7.8)	中 3	93.0 (+4.0)
R 7	小 6	95.0	中 3	95.0
R 8	小 6	100	中 3	100

(2) 授業における効果的な活用

ア ICTの授業での積極的な活用を促進し、日々の実践を通して、ICTを効果的に活用した授業づくりの充実を図る。

イ 学校における活用状況や児童生徒の活用の様子等の把握に努め、教職員の研修機会の充実等、それぞれの学校や教職員の状況に応じてICTを効果的に活用した授業づくりに努める。

【市ICT活用研修会】

回	実施予定日	内 容
1	令和7年6月4日(水)	ドリルパークの活用
2	令和7年8月4日(月)	デジタル教科書の活用
3	令和7年8月29日(金)	タブレット端末の操作、canva等の活用

(3) プログラミング教育の充実

ア 学校における取組状況の把握
教育課程への位置付け

イ 授業における活用

(ア) 小学生向けプログラミング教材「MESH」「マイクロビット」「スフィロボルト」の導入

令和2年度から導入、各小学校ごとに期間を決めて教材活用

(イ) 中学生向けプログラミング教材「ライフイズテックレッスン」の導入

令和6年度から導入、全中学校生徒数アカウントの配備

(4) 支援体制の充実

ア 株式会社mmcと連携し、通年、ICT支援員による学校の支援を実施している。

イ 年度初めのアカウント等の設定、授業における支援、研修等の講師派遣を行っている。